

- ・解答用紙の所定欄に結果のみを記すこと .
- ・簡潔な解答になるよう努めること . 不十分と判断された解答には得点を与えないことがある .

1 $f(x, y) = x^3 - 3x^2y$ とする .

- (1) 偏導関数 f_x を求めよ .
- (2) $z = f(x, y)$ 上の点 $(1, 2, -5)$ における接平面の方程式を求めよ .
- (3) 極限值 $\lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{f(x,y)}{(x^2 + y^2)^{\frac{n}{2}}}$ が有限値として存在するような正の整数 n をすべて求めよ .

2 $f(x, y) = (xy - 1)e^{-2x-y}$ とする .

- (4) 偏導関数 $f_x = \boxed{\text{(a)}}$ e^{-2x-y} である . 空所 (a) に入る適切な x, y の多項式を所定の解答欄に記入せよ .
- (5) 2次偏導関数 $f_{xy} = \boxed{\text{(b)}}$ e^{-2x-y} である . 空所 (b) に入る適切な x, y の多項式を所定の解答欄に記入せよ .
- (6) $f_x(a, b) = f_y(a, b) = 0$ を満たす点 (a, b) は $\boxed{\text{(あ)}}$ である .
このうち , $f(x, y)$ が極大となる点は $\boxed{\text{(い)}}$, $f(x, y)$ が極小となる点は $\boxed{\text{(う)}}$. 空所 (あ), (い), (う) にあてはまる すべての座標 を解答欄に記入せよ . ただし , 存在しない場合には「なし」と記入すること .

3

- (7) C^2 級関数 $f(x, y)$ に対して , $g(t) = f(t^2, t^3)$ と定義する . このとき , $t = 1$ における 2 次微分係数は

$$g''(1) = a_1 f_{xx}(1, 1) + a_2 f_{xy}(1, 1) + a_3 f_{yy}(1, 1) + a_4 f_x(1, 1) + a_5 f_y(1, 1)$$

である . 実数 a_1, a_2, a_3, a_4, a_5 の値を所定の解答欄に記入せよ .

- (8) $f(x, y) = \text{Sin}^{-1}\left(\frac{y}{x}\right)$ とし , $\varphi(s, t) = s+t$, $\psi(s, t) = s-t^2$ により , s, t の関数 $g(s, t) = f(\varphi(s, t), \psi(s, t))$ を考える . このとき , $s = t = \frac{1}{2}$ における偏微分係数 $\frac{\partial g}{\partial t}\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{2}\right)$ の値を求めよ .

4 次の $f(x, y)$ について , 与えられた点 (a, b) のまわりでテイラーの定理を用い , 2 次の項まで展開せよ .
すなわち ,

$$f(a + h, b + k) = c_0 + c_1 h + c_2 k + c_3 h^2 + c_4 h k + c_5 k^2 + (h, k \text{ に関する } 3 \text{ 次以上の剰余項})$$

となる実数 $c_0, c_1, c_2, c_3, c_4, c_5$ の値を所定の解答欄に記入せよ .

- (9) $f(x, y) = e^{x-y} \sin x$, $(a, b) = (0, 0)$.
- (10) $f(x, y) = \log(x^2 + y^2 + y)$, $(a, b) = (1, 0)$.

5

(11) \mathbb{R}^3 の 3 つの部分集合 W_1, W_2, W_3 について, \mathbb{R}^3 の部分空間となっているものはその次元を, 部分空間となっていないものは「×」を解答欄の所定の位置に記入せよ.

$$W_1 = \left\{ \begin{bmatrix} x \\ y \\ z \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid xy = 0 \right\}, \quad W_2 = \left\{ \begin{bmatrix} x \\ y \\ z \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid x = -4y \right\}, \quad W_3 = \left\{ \begin{bmatrix} t \\ t^2 \\ -t \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid t \in \mathbb{R} \right\}$$

6 次の \mathbb{R}^3 のベクトル $\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ -2 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 4 \\ -5 \\ 2 \end{bmatrix}$ を考える.

(12) 外積 $\mathbf{a}_1 \times \mathbf{a}_2$ を求めよ.

(13) \mathbb{R}^3 の部分空間 $H = \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2 \rangle$ と平面 $x + y - 2z = 0$ の交線の方程式を求めよ.

(14) $\mathcal{B} = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3)$ は \mathbb{R}^3 の基底である. $\mathbf{w} = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3$ の \mathcal{B} に関する座標 $[\mathbf{w}]_{\mathcal{B}}$ を求めよ.

7 \mathbb{R}^5 の部分空間 $W = \left\{ \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \\ x_4 \\ x_5 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^5 \mid \begin{array}{l} x_1 - 3x_2 - 2x_3 - 2x_4 - 13x_5 = 0 \\ x_1 + x_2 + 6x_3 + 2x_4 + x_5 = 0 \\ -3x_1 + x_2 - 10x_3 + kx_4 + 11x_5 = 0 \end{array} \right\}$ を考える.

(15) $\dim W = 2$ となるための実数 k のみたす条件を求めよ.

(16) k が (15) の条件を満たすとき, W の基底として $\left(\begin{bmatrix} \square \\ \square \\ 1 \\ \square \\ 0 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} \square \\ \square \\ 0 \\ \square \\ 2 \end{bmatrix} \right)$ の形のものが取れる. 空所に

入る適切な数値を解答欄に記入せよ.

8 \mathbb{R}^4 の部分空間 W_1, W_2 を次で定義する.

$$W_1 = \left\langle \mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} -1 \\ 1 \\ 5 \\ 2 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 3 \\ 4 \\ -1 \\ 1 \end{bmatrix} \right\rangle, \quad W_2 = \left\{ \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \\ x_4 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^4 \mid \begin{array}{l} 3x_1 - 5x_2 + 8x_4 = 0 \\ x_1 - 2x_2 + x_3 + 3x_4 = 0 \end{array} \right\}$$

(17) $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$ の間に成り立つ非自明な一次関係式をひとつ求めよ. ただし, 整数を係数とする関係式を答えること.

(18) $\begin{bmatrix} p \\ 1 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix} \in W_1 + W_2$ となるための p の条件を求めよ.

(19) $\dim(W_1 + W_2) = \square$ (ア), $\dim(W_1 \cap W_2) = \square$ (イ) となる. 空所 (ア), (イ) にあてはまる適切な数値を解答欄に記入せよ.

(20) $W_1 \cap W_2$ の基底を一組求めよ. ただし, 整数を成分とする列ベクトルを用いること.